

平成 26 年度 新規採択時評価の実施状況

(河川海岸整備課)

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
広域河川改修事業	(二)堀留川	浜松市	600	11.9	H25-29 交付金整備計画
広域河川改修事業	(二)都田川	浜松市	340	18.1	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)巴川	静岡市	110	61.0	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)大谷川 放水路	静岡市	150.0	11.5	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)五十鈴川	静岡市	100.0	2.7	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)青野川	静岡市	100.0	29.5	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)安良里浜川	静岡市	152.0	4.8	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)八木沢大川	静岡市	132.0	3.2	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)松原川	静岡市	220.0	2.6	H25-29 交付金整備計画
地震高潮対策事業	(二)田子江川	静岡市	280.0	8.3	H25-29 交付金整備計画

太枠について、様式 2「平成 26 年度 新規事業箇所調書」(事業種別代表事業)に選定する。

平成 26 年度 新規事業箇所調書

所管課 河川海岸整備課

事業名	広域河川改修事業																																						
河川・路線・施設名等	二級河川 堀留川			所在市町	浜松市 西区																																		
事業費	600 百万円			事業期間	H26～H29 (H56 目標)																																		
事業概要、目的																																							
<p>堀留川流域では、近年浜松市街地の拡大に伴い、急速に宅地化が進み、洪水流量の増大及び無害湛水地区の激減により、多くの湛水被害が発生している。</p> <p>本河川改修と浜松市の流域対策を併せて実施することで、戦後最大の被害をもたらした昭和 50 年 10 月豪雨に対し、床上浸水を概ね解消することを目的とする。</p>																																							
費用対効果(B/C)	11.9	総費用	8,265	総便益	98,412	基準年	H26																																
費用対効果分析の手法																																							
「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省 H17 参照																																							
評価指標、項目																																							
<p>堀留川は、新川の一部として昭和 52 年に全体計画が策定されている (S49 年七夕豪雨、S50 年 10 月の豪雨被害に対応) が、整備は未着手である (現況流下能力は、堤防-余裕高では 1/2 にも満たない)。近年も浸水被害が発生しており、地元要望が高い。</p>																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">発生年月日</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="3">浸水家屋数(戸)</th> </tr> <tr> <th>床上</th> <th>床下</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H6.9.15</td> <td></td> <td>11</td> <td>49</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H10.9.23</td> <td></td> <td>1</td> <td>17</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H16.11.11</td> <td></td> <td>1</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>H17.7.8</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H23.8.21</td> <td></td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>							発生年月日	名称	浸水家屋数(戸)			床上	床下	合計	H6.9.15		11	49	60	H10.9.23		1	17	18	H16.11.11		1	16	17	H17.7.8		1	2	3	H23.8.21		0	4	4
発生年月日	名称	浸水家屋数(戸)																																					
		床上	床下	合計																																			
H6.9.15		11	49	60																																			
H10.9.23		1	17	18																																			
H16.11.11		1	16	17																																			
H17.7.8		1	2	3																																			
H23.8.21		0	4	4																																			
事業概要図																																							

平成 26 年度 新規事業箇所調書

所管課 河川海岸整備課

事業名	地震・高潮対策事業		
河川・路線・施設名等	二級河川 大谷川放水路	所在市町	静岡市 駿河区
事業費	150 百万円	事業期間	H26 ~ H27

事業概要、目的

東海地震に対して整備した既存施設を L2 地震動に対応できる施設に高度化することにより、懸念される東海・東南海・南海の 3 連動地震に伴う地震・津波被害に対し、背後地に住む県民の安全・安心を確保する。

費用対効果(B/C)	11.5	総費用	150	総便益	1722.6	基準年	H26
------------	------	-----	-----	-----	--------	-----	-----

費用対効果分析の手法

「治水経済調査マニュアル(案)」国土交通省 H17 参照

評価指標、項目

静岡市駿河区の市街地に流れる二級河川大谷川放水路は、東海地震等による津波被害が想定され、緊急輸送路である国道 150 号の寸断や、市街化された集落の浸水など社会的影響が懸念されている。このため、大谷川水門を対象に、背後地に住む県民の生命・財産を守るべく、L2 地震動に対応できる補強工事を実施するものである。

事業概要図

